

報告第11号

株式会社パブリックサービスの経営状況の報告について

株式会社パブリックサービスの経営状況は、別添のとおりであるので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

令和8年9月8日提出

逗子市長 桐ヶ谷 寛

経 営 状 況

第35期事業年度 事業報告
自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

第36期事業年度 事業計画
自 令和8年4月1日
至 令和9年3月31日

株式会社 パブリックサービス

目次

ページ

1	第 35 期事業報告	
	Ⅰ 事業の概況	
	1 事業の経過および成果	
	(1) 当事業年度の概要	1-2
	(2) 安全第一と顧客サービス向上について	2
	(3) 高齢者雇用について	3
	(4) 損益の状況	4-6
	第 35 期 事業実績に関する事項	7
	(5) 事業損益の推移(6 期分)	8
	(6) 財政の状況	9
	(7) 新事業開発の使用実績	9
	(8) 市民貢献事業の使用実績	9
	2 業務運営事項	9
	3 会社が対処すべき課題	10
	Ⅱ 会社の概況	
	1 会社概要	10
	2 株式の状況	11
	3 取締役および監査役	11
	Ⅲ 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実	11
	Ⅳ 業務の適正を確保するための体制の運用状況(参考)	11
	(表)事業一覧	12
2	第 35 期貸借対照表	13
3	第 35 期損益計算書	14
4	第 35 期株主資本等変動計算書	15
5	附属明細書 : 財産目録	16
	注記表	17
6	監査報告書	18
7	第 36 期事業計画	19-21
	添付書類: 第 36 期予算損益計算書	22

第 35 期 事業報告

(令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで)

株式会社パブリックサービス
代表取締役 稲垣 正

I. 事業の概況

1. 事業の経過および成果

(1) 当事業年度の概要

① 全体

令和 7 年度（2025 年 4 月～2026 年 3 月）の我が国の社会経済は、米国の関税政策に端を発する貿易摩擦に加え、中東や中国をはじめとする地政学リスクの高まりなどを背景に、金融市場（金利・為替・株価）ならびに経済環境（物価・個人消費）において不確実性の高い状況が続きました。とりわけ個人消費においては特に円安による消費財価格の値上がりにより、実質賃金のマイナスが経済の停滞に繋がりました。当社においても人件費、エネルギー価格等の上昇が売上原価および一般管理費を押し上げました。

② 事業別概況

【受託事業（逗子市）】

- ・福祉バス運行業務は市役所本庁舎から逗子アリーナ経由高齢者センターの往復便と市内の東ルート・西ルートから高齢者センター往復の計 3 ルートを無事故で安全運行を遂行しました。
- ・街区公園・ハイキングコース管理業務では季節に合わせた植栽の手入れを行い、効率の良い作業を心がけ遂行しました。
- ・登下校児童交通整理業務は小坪小および久木小の信号のない横断歩道で実施し、登下校時の児童の安全を確保しました。
- ・学校開放業務は久木小で利用者の活動を安全にサポート。逗子小では調整会を開催しました。
- ・容器包装プラスチック選別業務は葉山町ごみ収集併合の 6 年目、年の瀬 12 月 28 日（日）の逗子市ごみ収集日も精勤。容プラごみの不純物を除去した後のバール（圧縮した容プラ塊）の品質検査では高評価のオール A を取得しました。
- ・池子の森自然公園緑地エリア管理業務ではエリア内の安全対策を講じました。
- ・市内小学校水泳学習送迎マイクロバス交通誘導業務（逗子文化プラザ敷地内）は 3 年目を迎え、安全第一を徹底し無事任務を遂行しました。
- ・その他逗子市からの受託業務は順調に遂行しました。

【受託事業（民間）】

- ・市内駐輪駐車場（清水橋南北・JR 逗子駅西東）の管理運営を公益財団法人自転車駐車場整備センターより受託して早 3 年半が経過しました。当期は建屋内スロープの破損部の修理、屋外通路の舗装修理等を迅速に対応し利用者の安全向上に努めました。

【指定管理事業（逗子市）市民交流センター】

- ・当期は指定管理 3 期目初年度にあたり、運営幹部層を刷新し、初心に帰り業務を遂行しました。市民交流センターの施設および諸設備は経年劣化により多くの要修繕箇所が見受けられ、当期は喫緊の修繕に多くを費やしました。また、市民交流センターを利用される市民の皆様への接客改善に注力し、気持ちよく利用戴けるよう努めています。Xmas から始めた映画上映会は大変好評で継続的に開催しております。

【自主事業】

- ・ ガーデンケア業務（個人宅の草刈り・樹木剪定）は梅雨時から非常に暑い日が秋まで続いたためか、多数の草刈りの注文を戴きました。暑い期間はしっかり熱中症対策を講じ、幸い職員は熱中症に罹らず乗り切りました。
- ・ 市内医療機関（2ヶ所）向け業務は一年中休みなく遂行し、清掃業務では数年ぶりに仕様書の見直しを行い、また従前の夜間見回り業務は今期より警備業1号施設警備に切り替え安全の水準を高めました。
- ・ ホーム&ビジネス業務は人材派遣業務（市内大型スーパーほか）、受託業務、請負業務の各分野で逗子市内の法人ならびに市民のニーズに応えました。空き家管理は徐々ですが受注増加傾向にあります。市内私立中高等学校の登校時生徒見守りおよびITサポートの業務は引き続き遂行しました。市内特別養護老人ホームの宿直業務は滞りなく遂行しました。
- ・ 披露山レストハウス売店業務は前年度より直営方式で行い当期は売上が増加しました。

（※）7ページ、12ページに「事業一覧」を掲載しています。

【市民貢献事業】

当期は実施いたしておりません。

（2） 安全第一と顧客サービス向上について

「安全第一」と「顧客サービス向上」は当社の事業を遂行する上で車の両輪にあたり、全職場共通の重点項目として引き続き注力してまいりました。

① 安全第一の徹底

- ・ 社長および本社幹部は各職場のマネージャー、主任、副主任と密に連係して安全衛生管理を実践しています。
- ・ 定期開催の主任会議および拡大衛生委員会で安全衛生を常に話題にして実効性を高めています。
- ・ 社長ならびに本社幹部が主要職場を年2回巡回し危険箇所をチェックする安全パトロールは発見事項および指摘事項等を現場に提示して、現場はPDCAを回し安全操業に向け課題改善に努めています。
- ・ 指差呼称は各職場で励行しています。
- ・ ウィルス感染症および他の疾病に引き続き注意して身体安全対策を講じています。
- ・ 自然災害（地震・台風・大雨等）対策は関係者間での意識合わせ、連絡網の更新を適宜行っています。
- ・ 安全衛生等対策の実効性を高めるため来期からの市との受託契約に当該費用（空調服・経口補水液・塩飴ほか）を含めています。尚、自主事業に関しては安全衛生引当金を必要に応じ有効に使用します。

② 顧客サービスの向上

- ・ 当社が管理運営する様々な施設の利用者様、業務委託者である逗子市役所ならびに民間の客先様には当社のサービスに満足が頂けるよう意見交換ならびに日々研鑽を重ねてまいります。
- ・ 社員向けに接遇研修、コンプライアンスおよびハラスメント知識の習得。派遣スタッフには法定のスキルアップ研修等、警備スタッフに対しては所定の法定研修を継続的に実施しています。

(3) 高齢者雇用について

① 健康管理

- ・ 高齢者が多くを占める当社では毎年の健康診断の受診を雇用継続条件にしており、一人一人の健診結果を記録保存して健康管理に役立てています。
- ・ 予防接種については接種を受けることを推奨しています。必要に応じ、当社が費用負担する場合があります。
- ・ 近年、確実に警戒級の暑い日が増加しており、当社では下記の熱中症対策を講じています。
 - ① 拡大衛生委員会にて産業医から助言を受ける。
 - ② 社長通達および社内諸通知（社内報含む）を用いて熱中症対策の周知や意識を高める。
 - ③ 熱中症の発症もしくは疑いがある場合は速やかに職場の上司および本社に連絡入れることを義務化。
 - ④ 熱中症患者応急手当の方法を職場の全員に周知（軽症・中等症・重症に区分）する。
 - ⑤ 気象庁発表の熱中症警戒アラートを職場に通知、注意を喚起する。
 - ⑥ 屋外作業の職場に空調服を会社負担で支給。
 - ⑦ 屋外施設では業務用扇風機や冷風機の設置。
 - ⑧ 塩飴・塩タブレット・塩分飲料（ポカリスエット等）および中等症向けの OS1 経口補水液は全て会社支給。凍らせたペットボトルは各自家庭より持参（スポーツ粉末は一部会社支給）。
 - ⑨ ガーデンケア職場は夏季の一時期を作業休止期間とする。
 - ⑩ 公園・ハイキングコース管理チームは一日の気温格差を利用し、早朝に重労働、日中に軽作業と重労働を分散。

② 社員統計

当期末の社員総数は前年度末比 4 名増加の 130 名、内女性は前年度増減なしの 23 名。全社の平均年齢は 69.1 歳（前年度より△0.5 歳）でした。内訳は「第一事業部」70.8 歳。「第二事業部（市民交流センター）」56.1 歳。【表 1】をご参照ください。

【表 1】

○雇用者統計：受託事業・指定管理・自主事業（ホーム&ビジネスの請負を除く）。

（単位：人）

事業年度（期末日）	社員総数	内訳			
		60 歳以上 男性	60 歳以上 女性	60 歳未満 男性	60 歳未満 女性
31 期（令和 4 年 3 月末）	126	106	12	2	6
32 期（令和 5 年 3 月末）	126	105	13	2	6
33 期（令和 6 年 3 月末）	130	105	15	3	7
34 期（令和 7 年 3 月末）	126	100	17	3	6
35 期（令和 8 年 3 月末）	130	104	17	3	6

（注）市民交流センター職員については、採用時の年齢制限を設けておりません。
池子の森自然公園緑地エリア管理職員に 60 歳未満の職員が 2 名含まれています。

○登録者統計：ホーム&ビジネス請負業務。

（単位：人）

事業年度（期末日）	登録者数	内訳			
		60 歳以上 男性	60 歳以上 女性	60 歳未満 男性	60 歳未満 女性
31 期（令和 4 年 3 月末）	6	3	3	0	0

32 期（令和 5 年 3 月末）	5	2	3	0	0
33 期（令和 6 年 3 月末）	8	4	4	0	0
34 期（令和 7 年 3 月末）	10	5	5	0	0
35 期（令和 8 年 3 月末）	12	6	6	0	0

※35 期：登録 12 名中、9 名（男性 5 名、女性 4 名）は当社社員兼任です。

(4) 損益の状況

第 35 期実績（6 ページ、【表 2】を参照ください。）

全社売上高

当期の全社売上高は 231,730 千円、前年度比で 13,644 千円の増収でした。

期初予算比は 4.2%増、金額で 9,279 千円増収でした。下記に事業別、業務別売上高を記します。

1. 受託事業

1-1 逗子市

【業務別売上】

（税抜き：単位 千円）

業務	第 35 期実績 (A)	第 34 期実績 (B)	差異 (A-B)	備考
※福祉バス	12,251	12,825	△574	稼働時間の減少
公園・ハイキングコース	9,529	9,330	+199	時給改定微増
広報板掲示	1,754	1,675	+78	同上
自転車保管場所	1,714	1,635	+78	同上
※登下校児童交通整理 （久木小・小坪小）	1,622	1,647	△24	稼働時間の減少
※学校開放（久木小）	2,767	2,698	+69	時給改定微増
容器包装プラスチック選別	28,399	25,831	+2,568	クランプ車 1 台リース契約 分を増額
屋外広告対策	279	270	+8	時給改定微増
池子の森自然公園管理	3,132	3,050	+81	同上
小学校水泳学習交通誘導	811	805	+6	同上
計	62,262	59,771	+2,490	—

※を付した業務は出来高で売上高が変動します。

1-2 公益財団法人自転車駐車場整備センター

【業務別売上】

（税抜き：単位 千円）

業務	第 35 期実績 (A)	第 34 期実績 (B)	差異 (A-B)	備考
駐輪駐車場管理（4 ヶ所）	39,125	36,669	+2,456	時給改定に拠る増額、当社 工事手配手数料収入増加
計	39,125	36,669	+2,456	—

2. 指定管理事業：逗子市

【売上明細】

（税抜き：単位 千円）

市民交流センター	第 35 期実績 (A)	第 34 期実績 (B)	差異 (A-B)	備考
指定管理収入	40,903	40,263	+639	指定管理料増額
会議室使用料収入	5,715	5,434	+281	会議室利用件数増加

プール利用料収入（一般）	13,732	12,846	+886	プール利用者増加
プール利用料収入（小学校）	3,865	3,820	+45	契約額の増額
プーチカ（水泳スクール）	608	526	+82	スクール講習収入増加
自動販売機収入	931	991	△60	微減
印刷収入	622	649	△27	利用減少
ロッカー設備利用収入	574	577	△3	同上
その他	234	460	△225	減収
計	67,188	65,571	+1,617	－

3, 自主事業：民間

【業種別売上】

（税抜き：単位 千円）

業務	第 35 期実績 (A)	第 34 期実績 (B)	差異 (A-B)	備考
ガーデンケア	30,661	25,086	+5,575	個人宅草刈り・樹木剪定の注 文件数急増
医療機関業務（2ヶ所）	9,921	9,099	+821	追加業務受注による増収
ビジネスサポート	18,194	18,306	△112	既存契約の減少
ホームサポート	2,244	2,301	△57	スポット受注案件の減少
披露山レストハウス	1,891	1,099	+792	売店メニュー刷新で増収
その他	240	181	+59	民間向け警備業務、市民チラシ
計	63,154	56,074	+7,079	－

・売上原価

当期の売上原価は 209,334 千円で前年度比 11,209 千円増加となりました。

・売上総利益（粗利益）：《売上高から売上原価を引いた金額》

当期の全社売上総利益（粗利益）は 22,395 千円で前年度比 2,435 千円増益、期初予算比でも 1,440 千円の増益となりました。

・販売費および一般管理費：

20,937 千円で前年度実績比 610 千円の増加でした。

・営業利益

営業利益は 1,458 千円、前年度実績比で 1,825 千円増益。期初予算比で 453 千円増益でした。

・営業外収益

営業外収益 2,549 千円は前年度比 502 千円の増益。

（当期の内訳）受取利息 46 千円、特定求職者雇用開発助成金 1,400 千円、披露山公園自動販売機収入 591 千円、安全衛生引当金戻入 491 千円、その他 20 千円。

前年度との差異は受取利息 36 千円増加、特定求職者雇用開発助成金 400 千円増加、披露山公園自動販売機収入 6 千円増加、安全衛生引当金戻入 113 千円増加、雑収入（その他）54 千円減少でした。

・営業外費用

営業外費用 991 千円で前年度比 361 千円の増加。

（当期の内訳）安全衛生引当金繰入損 500 千円。安全衛生費用 491 千円。

前年度との差異は安全衛生引当金繰入損 250 千円増加、安全衛生費用 113 千円増加、雑損失（その他）1 千円減少。

・ 経常利益

経常利益 3,015 千円で前年度比 1,965 千円増益。期初予算比 960 千円増益。

・ 特別利益

新事業開発準備金取崩益 969 千円。

・ 特別損失

新事業開発費償却 969 千円。

・ 税引前当期利益

3,015 千円は前年度比 1,965 千円の増益。期初予算比 960 千円増益。

・ 法人税、事業税および住民税等

200 千円で前年度と同額。

・ 当期純利益

当期純利益 2,815 千円は前年度比 1,965 千円の増益。期初予算比 960 千円増益。

【表 2】損益計算書（要約）

（税抜き 単位：千円）

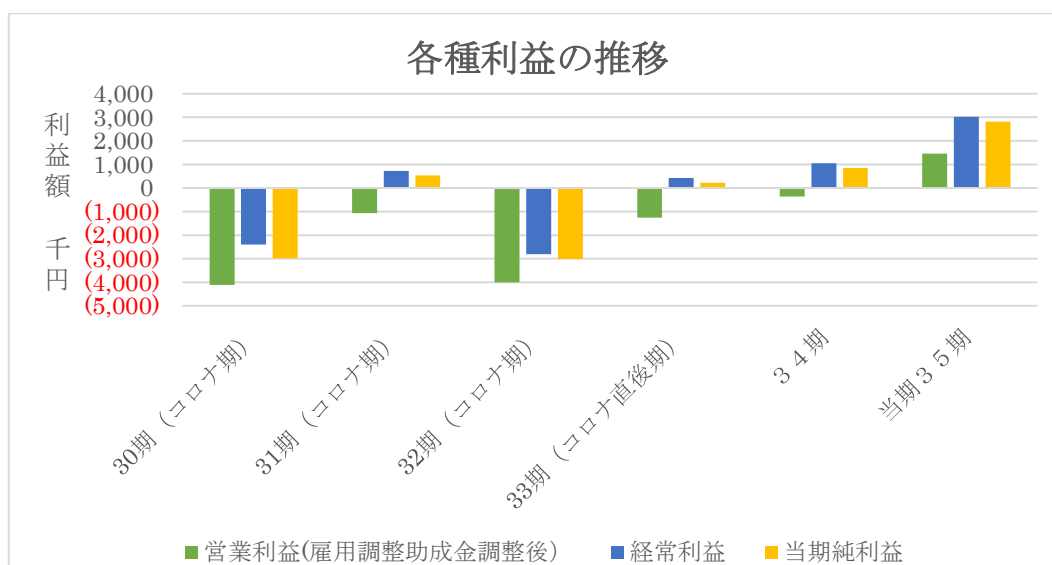
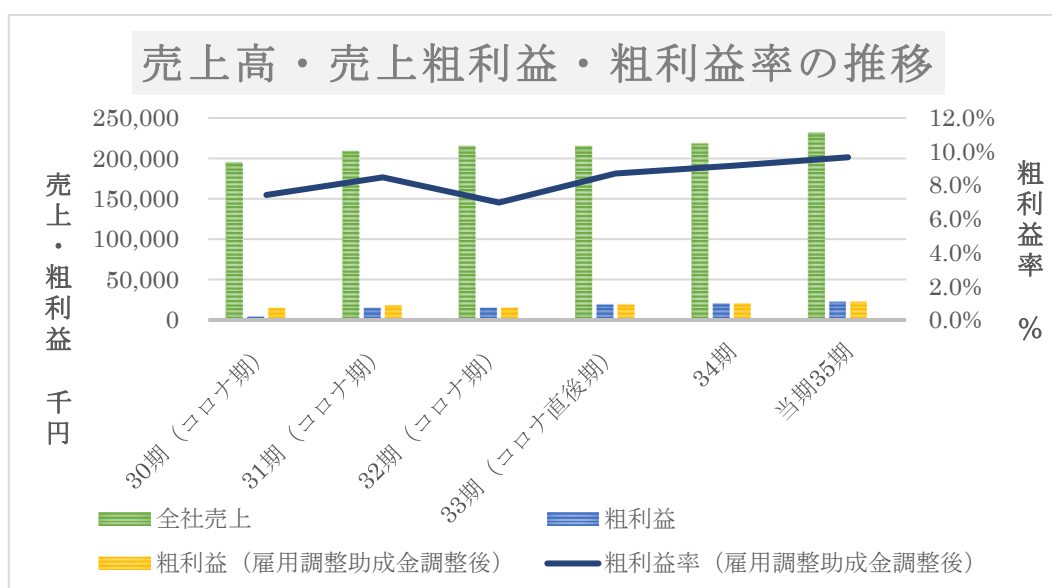
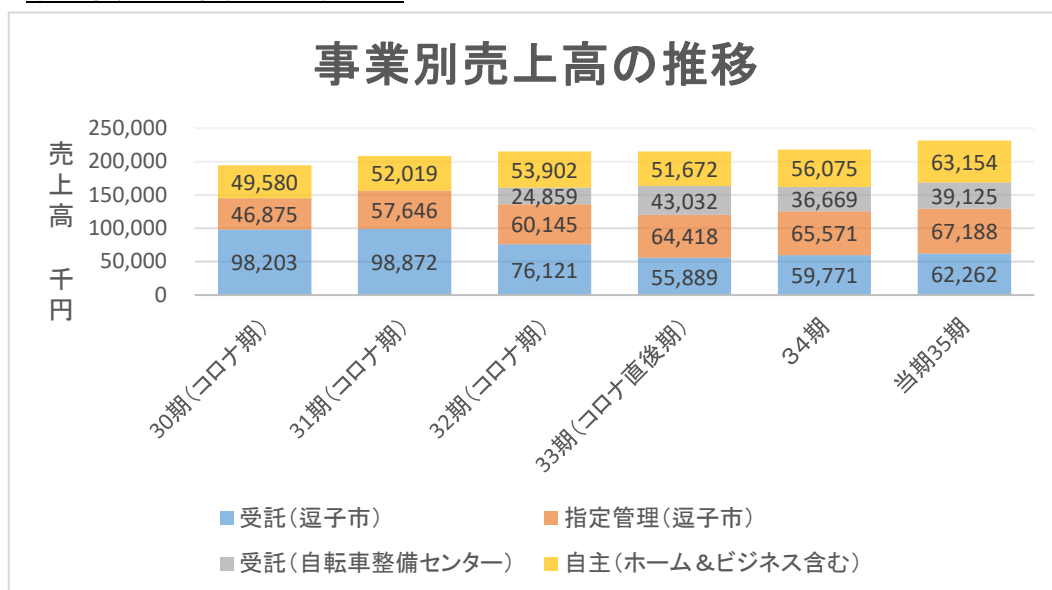
	第 35 期実績	第 35 期期初予算	第 34 期実績
（売上高）			
・ 受託事業（逗子市）	(62,262)	(61,682)	(59,771)
・ 受託事業（民間）	(39,125)	(37,952)	(36,669)
・ 指定管理事業	(67,188)	(66,100)	(65,571)
・ 自主事業	(63,154)	(56,716)	(56,074)
売上高合計	231,730	222,451	218,086
売上原価合計	209,334	201,496	198,125
売上総利益（粗利益）	22,395	20,955	19,960
販売費および一般管理費	20,937	19,950	20,327
営業利益	1,458	1,005	△367
営業外収益	2,549	2,350	2,047
営業外費用	991	1,300	630
経常利益	3,015	2,055	1,050
特別利益	969	5,000	1,878
特別損失	969	5,000	1,878
税引前当期利益	3,015	2,055	1,050
法人税等	200	200	200
当期純利益	2,815	1,855	850

（注）（ ）は売上高の事業別内訳です。△はマイナス金額を表示。

詳細については 7 ページ【表 3】「事業実績に関する事項」をご覧ください。

【表 3】 第35期 事業実績に関する事項				
	業務名	売上高	第35期	第34期
		(税抜き千円)	備考(利用者数等)	備考(利用者数等)
受託事業 (逗子市および民間)				
逗子市	福祉バス運行 (出来高)	12,251	福祉バス利用 28,859人(往復延べ)	福祉バス利用 29,340人(往復延べ)
	街区公園・ハイキングコース維持管理/高齢者センター他グリーンメンテナンス/小坪保育園樹木剪定	9,529	76公園,4ハイキングコース春秋各1回園内管理ほか	75公園,4ハイキングコース春秋各1回園内管理ほか
	広報板掲示等業務	1,754	61ヶ所	62ヶ所
	自転車等保管場所	1,714	自転車 240台、バイク27台	自転車 257台、バイク24台
	登下校児童交通整理(出来高)	1,622	小坪小学校、久木小学校	小坪小学校、久木小学校
	学校施設開放管理(出来高)	2,767	14,733人(久木小学校)	14,480人(久木小学校)
	容ブラ処理業務	28,399	ベール 1,304トン	ベール 1,312トン
	屋外広告物対策事業	279	違反広告監視	違反広告監視
	池子の森自然公園緑地管理	3,132	入園者総数 30,337人	入園者総数 29,601人
	市内小学校水泳学習送迎マイクロバス交通誘導(場所:逗子文化プラザ内)	811	市内4小学校(小坪・久木・沼間・池子)	市内4小学校(小坪・久木・沼間・池子)
	逗子市受託合計	62,262	-	-
民間	清水橋南北駐輪駐車場	39,125	扱い区分【清水橋南】(一時)自動車・自転車・バイク(定期)自転車・バイク【清水橋北】(一時)自転車・バイク	扱い区分【清水橋南】(一時)自動車・自転車・バイク(定期)自転車・バイク【清水橋北】(一時)自転車・バイク
	JR逗子駅西東駐輪場		扱い区分【JR逗子駅西】(定期)自転車・バイク【JR逗子駅東】(一時)自転車・バイク	扱い区分【JR逗子駅西】(定期)自転車・バイク【JR逗子駅東】(一時)自転車・バイク
	民間(公益財団法人自転車駐車場整備センター)受託合計	39,125	-	-
指定管理者事業(逗子市)				
	会議室・市民交流スペース・喫茶スペース等の利用者合計	67,188	センター全体121,166人、	センター全体107,946人、
	プール利用者数		49,018人	46,533人
	指定管理合計	67,188	-	-
自主事業 (民間・個人)				
	ガーデンケア	30,661	693件(草刈り・樹木剪定)	630件(草刈り・樹木剪定)
	民間医療施設(清掃・施設警備等)	9,921	市内医療機関2ヶ所	市内医療機関2ヶ所
	ホーム&ビジネス・サポート	20,439	派遣・受託・請負	派遣・受託・請負
	披露山レストハウス売店	1,891	営業日:土・日・祝日	営業日:土・日・祝日
	その他	240	市民チャリン、警備スポット、緑化協定	市民チャリン、警備スポット、緑化協定
	自主合計	63,154	-	-
全社合計		231,730	-	-

(5) 事業損益の推移（6 期分）



(6) 財政の状況

【表 4】貸借対照表(要約)

(単位：千円)

		第 35 期	第 34 期
		令和 8 年 3 月 31 日	令和 7 年 3 月 31 日
資 産	現預金	72,261	75,205
	その他流動資産	18,365	13,189
	固定資産	2,465	1,429
	合計	93,092	89,823
負 債 資 本	流動負債	23,694	22,272
	固定負債	3,000	3,000
	資本金	10,400	10,400
	利益準備金	120	120
	新事業開発準備金	12,044	13,013
	市民貢献準備金	2,635	2,068
	繰越利益剰余金	41,197	38,948
	合計	93,092	89,823

(7) 新事業開発の使用実績

当費用は新事業開発準備金を原資としており、事業予算は第 34 期株主総会（令和 7 年 6 月）で報告しております。

・新事業開発費用

事業名	実績（千円）	備考
警備業開発費用	662	事業投資・事業継続費用
披露山レストハウス 再開発費用	307	事業投資・新規開店費用
合計	969	-

(8) 市民貢献事業の使用実績

「市民貢献準備金」は逗子市および逗子市民への貢献を目的とする基金で市民貢献準備金を原資としており、事業期初予算は第 31 期株主総会（令和 4 年 6 月）で報告しております。尚、令和 7 年度の事業予算については設けない旨を第 35 期事業予算で報告しております。

事業名	実績（千円）	備考
該当なし	-	-

2. 業務運営事項

- ・令和 7 年 4 月 逗子市等との間で令和 7 年度受託等の契約を締結
- ・令和 7 年 5 月 第 34 期 監査役監査の実施
- ・令和 7 年 6 月 25 日 第 34 期定時株主総会開催
- ・令和 7 年 7 月 「株式会社パブリックサービスの経営状況」を逗子市長へ提出
- ・令和 7 年 6 月以降 第 35 期取締役会 6 回開催

3. 会社が対処すべき課題

(1) 安全衛生の強化

安全で事故のない職場運営を遂行するため「指差呼称」の徹底、業務マニュアルの見直しをはじめ、業務の安全点検を継続的に実施します。危険職場を中心に主要職場を巡回点検する安全パトロールは年に2回実施しています。また、社員の高齢化が進む中、健康管理重視の経営を行っており、熱中症対策はここ数年来最重点項目に位置づけ注力しております。

(2) 顧客サービスの品質向上

接客マナー接遇を改善すると共に顧客対応に気持ちを込めサービス品質向上に努めます。

(3) 市民貢献事業等

当期、第35期は実施しませんでした。逗子市および逗子市民の公共的なニーズおよび暮らしの課題解決に役立てるために市民貢献準備金は将来のために每期積み立てております。

(4) 新規事業の開拓

- ・「ホーム&ビジネスサポートの事業」は人材派遣、空き家管理、法人向け清掃業務等、更に時代の要請に合ったビジネスの拡大を模索かつ推進してまいります。
- ・警備業は市からの受託業務のほか、民間の需要にも対応しておりますが一層の基盤固めをしてまいります。
- ・市から施設利用許可を得て運営する披露山レストハウスは多彩な飲食メニューを揃え、冷暖房設備を導入、幼児向けおもちゃコーナーも設置して快適な空間になりましたので集客増加を目指します。

(5) 女性雇用の促進・スタッフ部門の強化

- ・女性の雇用が少ないと認識しておりますので、女性の雇用機会を増やすために引き続き積極的に雇用を行ってまいります。
- ・当社が新規分野への業務展開を模索する中、スタッフ部門の人材強化が必要でありプロジェクト推進の経験者を任用いたします。

(6) 就業規則の改定

当期に就業規則改定の作業が終了したので、来期（第36期）の早い時期に改定版就業規則を発効いたします。

Ⅱ、会社の概況

1. 会社概要（令和8年3月31日現在）

設立年月日	平成3年（1991年）8月26日
払込資本金	1,040万円
主な事業内容	公共施設管理業務、市内法人市民向け各種サービス業務等
社員の状況	130名（うち女性23名） 平均年齢69.1歳
主な事業所	
（登記本店）	〒249-0003 逗子市池子4丁目948番地
（逗子ビジネスオフィス）	〒249-0006 逗子市逗子5丁目4番33号 逗子会館2階
事業年度	4月1日から翌年の3月31日までの1年

2. 株式の状況（令和8年3月31日現在）

(1) 発行済株式の総数 208 株 （1 株額面 5 万円）

(2) 株主および出資状況

株 主 名	持株数	出資比率
逗子市	106 株	50.96%
株式会社横浜銀行	10 株	4.81%
かながわ信用金庫	10 株	4.81%
湘南信用金庫	10 株	4.81%
逗子市商工会	5 株	2.40%
社会福祉法人逗子市社会福祉協議会	1 株	0.48%
市民株主	64 株	30.77%
その他	2 株	0.96%

3. 取締役および監査役（令和8年3月31日現在）

職 名 ・ 氏 名	主 な 役 職 名
代表取締役 稲垣 正	当社社長
取締役 柏村 淳	逗子市副市長
取締役 湊屋孝之	逗子市商工会顧問、鎌倉法人会参与
取締役 玄 真琴	逗子葉山経済新聞編集長
取締役 高津恵一	社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会会長
監査役 加藤誠一	株式会社横浜銀行逗子支店長

Ⅲ. 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当ありません。

Ⅳ 業務の適正を確保するための体制の運用状況（参考）

1. コーポレートガバナンス

当社は取締役会設置会社であり、取締役会を年に6回開催しております。

2. コンプライアンス

法令遵守は事業を遂行する上で当然の事であり厳守してまいります。

「(株)パブリックサービス役職員行動規範（平成26年12月施行）」を制定しております。

3. リスク管理

万が一の事故に備えて必要十分な保険を付保しております。

想定される諸リスクに対して適正な対応がとれるように更なる対策を講じてまいります。

4. 内部統制

内部統制が機能する組織および業務プロセスを構築してまいります。

[事業一覧]

受託事業	委託者：逗子市
逗子市内各所と高齢者センターを結ぶ福祉バスの運行	
市内街区公園（76ヶ所）およびハイキングコース（二子山自然遊歩道、神武寺鷹取山、ふれあいロード、披露山浪子不動）4ルートの維持管理	
高齢者センター・グリーンメンテナンス。小坪保育園樹木剪定 園内管理	
広報板掲示等業務	
自転車等保管場所管理	
登下校児童交通整理配置（小坪小学校・久木小学校）	
放課後・土曜日・日曜日などの学校施設開放管理業務（久木小）	
環境クリーンセンターでの容器プラスチック選別業務	
屋外広告物対策事業	
池子の森自然公園緑地管理業務	
市内小学校水泳学習送迎マイクロバス交通誘導業務（2号警備）	

受託事業	委託者：公益財団法人自転車駐車場整備センター
駐輪駐車場（清水橋南北駐輪駐車場、JR 逗子駅西東駐輪場）の管理運営 （令和4年10月1日 逗子市より現委託者に経営主体変更）	

指定管理	委託者：逗子市
逗子文化プラザ市民交流センターを指定管理者として運営管理する事業	

自主事業Ⅰ	委託者：民間
ガーデンケア（市内戸建て個人住宅および集合住宅の草刈り・樹木の剪定）、（市内特別養護老人ホーム庭園管理）	
市内医療機関の館内清掃・施設警備業務・外周草刈り	
市内クリニックの当直業務	
ホーム&ビジネス・サポート事業： （人材派遣）市内大型スーパー、私立中高等学校、高齢者介護施設宿直（受託）大手不動産事務所清掃、駐車場清掃など。（請負）空き家管理、個人宅やシェアハウスの掃除、片付け、市民チラシサービスなど	
警備業（第1号警備：施設警備）（第2号警備：雑踏警備・交通誘導） イベント設備警備、祭礼時交通誘導、その他警備	

自主事業Ⅱ	（逗子市環境都市部緑政課関係）
披露山レストハウス売店運營業務（逗子市よりレストハウス貸与）	
アーデンヒル緑化協定 植栽基準確認業務（植栽計画書適合確認・立ち合い確認）	

（注）事業報告、計算書類および株主資本等変動計算書はすべて消費税額抜きで表示。
金額は表示単位未満の端数を切り捨て、パーセンテージは表示単位未満の数字を四捨五入して表示しております。
数字の前に付く△はマイナスを意味します。

第35期 貸借対照表
(令和8年3月31日現在)

(単位:千円)

項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
I 流動資産		I 流動負債	
現金	353	未払費用	15,561
預金	71,907	未払法人税等	200
売掛金	11,342	未払消費税等	4,525
立替金	1,686	預り金	725
仮払金	1,598	安全衛生引当金	2,682
前払費用	849		
未収入金	2,888		
流動資産合計	90,626	流動負債合計	23,694
II 固定資産		II 固定負債	
		修繕引当金	3,000
(有形固定資産)		固定負債合計	3,000
建物	0	負債合計	26,694
構築物	0	(純資産の部)	
車両運搬具	1,677	I 株主資本	
工具器具備品	50	資本金	10,400
一括償却資産	721	利益剰余金	
		利益準備金	120
(投資その他の資産)		その他利益剰余金	55,877
敷金	16	新事業開発準備金	12,044
		市民貢献準備金	2,635
		繰越利益剰余金	41,197
固定資産合計	2,465	純資産合計	66,397
資産合計	93,092	負債・純資産合計	93,092

(注)有形固定資産の減価償却累計額 : 14,693千円

第35期損益計算書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		
受託事業	101,387	
指定管理事業	67,188	
自主事業	63,154	
売上高合計		231,730
売上原価		209,334
売上総利益		22,395
販売費及び一般管理費		20,937
営業利益		1,458
営業外収益		
受取利息	46	
安全衛生引当金戻入益	491	
特定求職者雇用開発助成金	1,400	
その他収益	611	
営業外収益合計		2,549
営業外費用		
安全衛生費用	491	
安全衛生引当金繰入損	500	
その他損失	0	
営業外費用合計		991
経常利益		3,015
特別利益		
新事業開発準備金取崩益	969	
特別利益合計		969
特別損失		
新事業開発費償却	969	
特別損失合計		969
税引前当期利益		3,015
法人税、住民税及び事業税		200
当期純利益		2,815

第35期株主資本等変動計算書
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	利益剰余金					株主資本合計	
		利益準備金				利益剰余金 合計		
			新事業開発準備金	市民貢献準備金	繰越利益剰余金			
当期首残高	10,400	120	13,013	2,068	38,948	54,151	64,551	64,551
当期変動額								
新事業開発準備金取崩益			△969			△969	△969	△969
市民貢献準備金取崩益				567	△567			
当期純利益					2,815	2,815	2,815	2,815
当期変動額合計			△969	567	2,248	1,846	1,846	1,846
当期末残高	10,400	120	12,044	2,635	41,197	55,997	66,397	66,397

(附属明細書)

財 産 目 録

(令和8年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 明 細	金 額	説 明
現金	353	現金
預金	71,907	普通預金、定期預金
売掛金	11,342	逗子市受託分、逗葉地域医療センター、逗子桜山クリニック、(株)イトーヨーカ堂、ホーム&ビジネスサポート顧客、ガーデンケア顧客ほか
立替金	1,686	年末調整還付金、社員立替金ほか
仮払金	1,598	駐輪駐車場・自転車保管場所 つり銭ほか
前払費用	849	損害保険料、自動車リサイクル預託金ほか
未収入金	2,888	市民交流センター未収入金、Paypay売上代金ほか
建物	0	-
構築物	0	-
車両運搬具	1,677	軽自動車12台、バイク1台
工具器具備品	50	パソコン2台、その他
一括償却資産	721	パソコン6台、券売機1台、給水管1式
敷金	16	駐車場敷金
合 計	93,092	-

負 債 の 明 細	金 額	0
未払費用	15,561	仕入債務、従業員給与(令和8年3月分)
未払法人税等	200	法人市民税(逗子市)、法人県民税(神奈川県)
未払消費税等	4,525	確定消費税(鎌倉税務署)
預り金	725	雇用保険料、駐輪場ICカード、源泉税ほか
安全衛生引当金	2,682	安全衛生費等充当用
修繕引当金	3,000	修繕費充当用
合 計	26,694	-

注記表

この書類記載の計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」にしたがって作成されています。

(1) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1-1) 資産の評価基準および評価方法

個別原価法によります。

(1-2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法を採用しています。

無形固定資産 定額法を採用しています。

(1-3) 収益および費用の計上基準

収益は実現主義(販売基準)・費用は発生主義によります。

(1-4) 計算書類作成のための重要な事項

① リース取引の処理方法

リース取引はありません。

② 消費税などの会計処理

税抜方式によります。

(2) 貸借対照表に関する注記

(2-1) 保証債務などの金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-2) 取締役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(2-3) 監査役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

(3) 株主資本等変動計算書に関する注記

(3-1) 発行済み株式の数

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 : 14,693千円

前期末株式数 208株

当期末株式数 208株

監査報告書

令和8年5月12日

株式会社 パブリックサービス

代表取締役 稲垣 正 殿

監査役 加藤 誠一 ⑩

私、監査役は令和7年4月1日から令和8年3月31日までの第35期事業年度における事業報告、計算書類(貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書)及び付属明細書を監査した結果について、次のとおり報告します。

1. 事業報告は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく報告しているものと認める。
2. 会計帳簿は、正しく記載されており計算書類の記載と合致していることを認める。
3. 計算書類は、計算書類規則に適合し法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
4. 付属明細書は、前掲規則に基づき正しく記載されており、会計帳簿及び計算書類の記載と合致していることを認める。
5. 業務の遂行に関し、法令若しくは定款に違反する重大な事実はなく公正であることを認める。

以 上

第 36 期 事業計画

(令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで)

(1) 第 36 期事業概要

業務運営全体に関しては熱中症対策を含む「安全第一の遵守」ならびに「業務の質的向上」に注力いたします。受託事業（逗子市および民間）においては仕様に沿った必要十分な業務遂行の水準維持をいたします。指定管理事業（市民交流センターの指定管理者）は逗子市民のみならず市外からも大勢の方に来館して頂きたい、情報が豊富で機能的、居心地の良い、学びの場がある、逗子らしさの溢れた市民交流センターを目指し内容を充実させてまいります。

自主事業はまずは既存業務の維持改善に努め、更に逗子市民のニーズを調査して新規事業の開発を目指します。

尚、近年における民間企業ならびに公務員の定年後の雇用延長施策により、当社社員の入社時の高齢化が進んでおり、在籍社員の平均年齢も上昇しています。就いては、高齢社員の健康管理の良否が安全衛生および業務生産性の水準に繋がるので今期は「健康経営」をより積極的に推進してまいります。

【受託事業（逗子市）】

- ・ 容器包装プラスチック選別業務は、逗子市および葉山町の容プラごみを対象としておりますが、今日の問題である電池の火災事故が起こらぬよう緊張感をもって業務を遂行します。また熱中症対策には例年以上に万全を期して取り組みます。
- ・ 福祉バス運行業務では引き続き高齢の利用者に満足の頂ける親切で安全な運行を提供いたします。
- ・ 街区公園・ハイキングコース管理は季節の変化および現場の状況に応じた丁寧で効率の良い作業を目指します。遊具点検も適宜おこないます。
- ・ 学校開放業務は久木小学校の開放業務および逗子小学校調整会を引き続き遂行します。
- ・ 登下校児童交通整理は小坪小、久木小の信号機のない横断歩道が対象ですが確実に児童の安全を守ってまいります。
- ・ 池子の森自然公園緑地エリア管理業務は来園者に快適に利用頂けるよう安全整備を徹底します。
- ・ 逗子文化プラザ内市内小学校水泳学習マイクロバス交通誘導は 4 年目、安全第一を維持します。
- ・ 自転車保管場所、広報板掲示、違反広告監視の受注業務は同じく確実に業務を遂行します。

【受託事業（民間）】

駐輪駐車場管理業務（経営主体：公益財団法人自転車駐車場整備センター）は設備の機械式自動化デジタル化が進みました。安全第一で心の通う接遇を心掛けてまいります。

【指定管理事業（逗子市）】

指定管理業務（市民交流センター）は三期目の 2 年目を迎えます。今期は協定書に沿った基本プログラムの履行はもとより、B1 温水プールの存在周知活動、また逗子市ならではの独自企画を開催してセンター全体の利用者を大幅に増やしてまいります。前年度に館内施設および設備の老朽危険箇所については早急に修繕をいたしましたので、ひとまず快適な環境が提供できておりますので、今期は残りの要修繕箇所について引き続き修繕を行います。

尚、市立小学校 5 校が水泳学習授業で利用する温水プールは児童の身体安全ならびに水質の衛生維持を最優先に適切な現場対応を実施します。

【自主事業】

ホーム&ビジネス事業のホーム部門は市民の生活上のニーズをリサーチして、サービス拡大を目指します。空き家管理業務は受注を増やしてまいります。ビジネス部門は市内法人からの受注獲得に努めます。

ガーデンケア（個人宅庭の草刈り・樹木の剪定）は熱中症対策に注力し、人員を増やして業務体制を構築します。

市内医療機関向け業務は 35 期中に具体的な業務内容の見直し整理をおこないました。尚、令和 7 年 4 月より旧当直業務は施設警備業務に変更しましたが、今期も順調に実績を残してまいります。

披露山レストハウス売店運営は利便性を残しつつ損失（赤字）の減少に努めます。

警備業運営は課題の整理を行い、中期計画を構築します。

(2) 第 36 期事業予算

・予算内訳は 3 部構成になっております。

I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

II：新事業開発に関する予算

III：市民貢献事業に関する予算

I：受託事業・指定管理・自主事業に関する予算

【全社売上高】

第 36 期全社売上高は 242,366 千円を見込みます。前年度実績比で 10,635 千円の増収。

内訳

《受託事業（逗子市）》

受託事業（逗子市）の売上予算は 65,331 千円、前年度実績比で 3,068 千円の増収を見込む。

《受託事業（民間）》

受託事業（公益財団法人自転車駐車場整備センター）の売上予算は 41,081 千円、前年度実績比で 1,956 千円の増収を見込む。

《指定管理事業（逗子市）》

指定管理（市民交流センター）の売上予算は 73,581 千円、前年度実績比 6,393 千円の増収を見込む。

《自主事業》

自主事業売上予算は 62,371 千円、前年度実績比 782 千円の減収を見込む。

【売上総利益（粗利益）】 22,948 千円、前年度実績比 553 千円の増益を見込む。

【販売費及び一般管理費】 22,000 千円。前年度実績比 1,062 千円の管理費増を見込む。

【営業利益】 948 千円。前年度実績比 509 千円減益。

【営業外収益】 合計 1,935 千円。

内訳：受取利息 45 千円、安全衛生引当金戻入 300 千円、特定求職者雇用開発助成金 1,000 千円、披露山自販機収入 590 千円。

【営業外費用】合計 600 千円。

内訳：安全衛生費用 300 千円、安全衛生引当金繰入損 300 千円。

【経常利益】2,283 千円、前年度実績比 731 千円減益。

【特別利益】合計 4,000 千円

新事業開発準備金取崩益 3,000 千円

市民貢献準備金取崩益 1,000 千円

【特別損失】合計 4,000 千円

新事業開発費償却 3,000 千円

市民貢献準備金償却 1,000 千円

【税引前当期利益】2,283 千円、前年度実績比 731 千円減益。

【法人税、住民税及び事業税】200 千円

【当期純利益】2,083 千円、前年度実績比 731 千円減益。

Ⅱ：新事業開発に関する予算

前年度に引き続き、警備業（33 期より継続）ならびに披露山レストハウス運営開発費（令和 6 年 4 月より施設管理許可更新取得）を新事業開発案件と致します。また、新規事業開発の好機に備えるため予備費を計上します。尚、投資額は将来収益での回収を目指します。

新規事業名	金額（千円）	経費内訳
第 36 期 新事業開発予算	3,000	警備業 800 千円（内容：法定研修費、指導講師費用ほか）
		披露山レストハウス 200 千円（内容：修繕費、備品費等）
		新規案件の予備費 2,000 千円
合計	3,000	－

（注記）警備業は前年度同様の水準。披露山レストハウスは建屋老朽化の為の対策費。

新規案件予備費は年度で新たに設定しています。

Ⅲ：市民貢献事業に関する予算

第 34 期で「空き家活用支援事業」「ネットボックス等購入費補助金交付事業」は終了しました。

第 35 期（計画および実績は無し）に続き第 36 期も備えの予算（使途未定）を計上します。

事業名	金額（千円）	内訳
第 36 期 市民貢献事業予算	1,000	予備費（使途未定）
合計	1,000	－

以上

第 36 期 事業予算（予算損益計算書）
（期間：令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日）

（税抜き 単位：千円）

	項目	第 36 期・期初予算	第 35 期実績 （参考）
予算 Ⅰ	（売 上）		
	（受託事業収入：逗子市）	(65, 331)	(62, 262)
	（受託事業収入：民間）	(41, 081)	(39, 125)
	（指定管理収入）	(73, 581)	(67, 188)
	（自主事業収入）	(62, 371)	(63, 154)
	売上高合計	242, 366	231, 730
	売上原価	219, 417	209, 334
	売上総利益	22, 948	22, 395
	販売費及び一般管理費	22, 000	20, 937
	営業利益（△は営業損失）	948	1, 458
	（営業外収益）		
	受取利息	45	46
	安全衛生引当金戻入	300	491
	特定求職者雇用開発助成金	1, 000	1, 400
	自販機収入	590	591
	雑収入	0	20
	合計	1, 935	2, 549
	（営業外費用）		
	安全衛生費用	300	491
	安全衛生引当金繰入	300	500
	雑損失	0	0
	合計	600	991
	経常利益	2, 283	3, 015
予算 Ⅱ・Ⅲ	（特別利益）		
	新事業開発準備金取崩益	3, 000	969
	市民貢献準備金取崩益	1, 000	0
	合計	4, 000	969
	（特別損失）		
	新事業開発費償却	3, 000	969
	市民貢献準備金償却	1, 000	0
	合計	4, 000	969
	税引前当期純利益	2, 283	3, 015
	法人税等	200	200
	当期純利益	2, 083	2, 815

（注）△の金額はマイナスを表します。